

フォーレ没後100年・アーン生誕150年記念

L'esprit de la chanson vol.1

～ フォーレとアーンを歌う ～

ガブリエル・フォーレ：歌曲集《優しき歌》Op.61

リディアOp.4-2

夢の後にOp.7-1

ネルOp.18-1

月の光Op.46-2 ほか

レイナルド・アーン：歌曲集《灰色の歌》

クロリスに

私の詩に翼があったなら ほか

テノール 野中裕太

ピアノ 薮島啓介

2024年 11月17日 (日) 13:30 開場
14:00 開演

一般：4000円

学生：2000円

(全席自由)

ご予約はこちら



Le Salon de Clavier (JR田端駅より徒歩4分)

※住所等につきましてはご予約後にご案内いたします

お問い合わせ：lespritdelachanson@gmail.com

2024年は、フランス近代最大の作曲家、ガブリエル・フォーレ（1845-1924）の没後100年にあたり、またベネズエラ出身でフランスで活躍した作曲家レイナルド・アーン（1874-1947）の生誕150年にもあたります。

これら2人の作曲家は、多くの美しいフランス歌曲を残しており、この演奏会では、人口に膾炙した作品を含め、歌曲分野における2人の足跡をたどります。

今回の演奏会は、野中裕太と薮島啓介による“L' esprit de la chanson”と題するコンサートシリーズの第1回となります。「歌の精神」、「歌曲のエスプリ」などご自由に訳していただいて結構ですが、日曜日の昼下がりに、瀟洒なサロンで、フランス歌曲の優美で繊細なespritをお楽しみください。



テノール：野中裕太 Yuta Nonaka

山梨県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時に同声会賞、佐々木成子賞受賞。現在同大学院音楽研究科声楽専攻修士課程3年次に在籍。声楽を川口聖加、小山由美、菅英三子の各氏に師事。「2023年度東京藝術大学奏楽堂モーニングコンサート」に成績優秀者として角田鋼亮氏指揮、藝大フィルハーモニア管弦楽団とソリストとして共演し、B.プリテン作曲《イリュミナシオン》Op.18を演奏。

オペラでは演奏会形式やハイライト公演などで《コジ・ファン・トゥッテ》フェルランド役や《愛の妙薬》ネモリーノ役、「椿姫」アルフレード役などを演じる。「藝大第九」や「中央区第九」など第九ソリストとしても活躍している。

大学院では主にH.ヴォルフの歌曲などドイツリートを中心に研究しており、これまでにF.シューベルト作曲《美しき水車小屋の娘》の全曲演奏や、R.シューマン作曲《詩人の恋》などの演奏会を行ってきた。



Photo: 井村重人

ピアノ：薮島啓介 Keisuke Haishima

埼玉県生まれ。6歳よりピアノを始める。東京大学法学部卒業、東京大学法科大学院修了。在学中は開成管弦楽団、東京大学フィルハーモニー管弦楽団の指揮者をつとめる。現在、都内で弁護士として執務する傍ら、バロックから近代を主要なレパートリーとして、ソロ、デュオ、室内楽、歌曲伴奏等の演奏活動を行い、現代作曲家の新作や編曲作品の初演も多数行っている。ドイツ音楽とフランス音楽を得意とし、2016年に1stCD「シューマン&リスト」、2020年に2nd CD「Transcribed Bach」をリリース。2021年より2022年にかけて、大脇滉平編曲によるイザイの無伴奏ヴァイオリンソナタのピアノ独奏版の初演を行った。2023年4月にイザイの同作品を収録したCD「イザイ・オン・ピアノ」をMclassicsレーベルよりリリースし、レコード芸術誌特選盤に選定されるほか、「最近これだけ泣かされたCDもない」（井上千岳氏、『無線と実験』2023年7月号）など好評を博す。